

機械加工工程用作業シート

この作業シートは、機械加工工程における切削油等に含まれる添加剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-3機械加工工程(pⅢ-52)の算出事例を参考にしてください。

廃切削剤中の対象物質の含有率がわからない場合は、
 使用切削剤中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Bの製造品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	I中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D × E ÷ 100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M =J × K ÷ 100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O =G-N
機械加工							0							
													→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

大気への排出量の算出		水域への排出量の算出	
大気・水域の排出の少ない媒体の判定	大気への排出量	大気・水域の排出の多い媒体	水域への潜在排出量
P 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入	kg/年 Q	R 排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入	kg/年 S =O
大気	0	水域	
	↓ 「大気への排出」として集計		
			① 排水処理を行っていない場合 水域への排出量=S
			② 排水処理を行っている場合
			排水処理による除去率 % T
			排水処理による分解率 % U
			水域への処理後の排出量 kg/年 V =S × (100-T) ÷ 100
			処理による分解量 kg/年 W =S × U ÷ 100
			排水処理で発生する廃棄物の名称 X
			X中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Y =S × (T-U) ÷ 100
			Xの移動等の分類 Z

排水処理がない場合:S
 排水処理がある場合:V
 を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または「下水道への移動」として集計

移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

塗装工程(溶剤)作業シート

この作業シートは、塗装工程における塗料に含まれる揮発性の溶剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-5塗装工程(pⅢ-71)の算出事例を参考にしてください。

廃塗料中の対象物質の含有率がわからない場合は、
 使用塗料中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Bの製造品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	I中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M =J×K÷100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O =G-N
塗装							0							

水域への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定
 P 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

水溶性度を用いて算出する場合	排水中のBの濃度 mg/L Q	排水量 m ³ /年 R	水域への潜在排出量 kg/年 S =Q×R÷1000
α →			kg/年 S'

排水中の濃度を測定している場合、実測値を記入して下さい。

① 排水処理を行っていない場合

水域への排出量 = S	排水処理がない場合: S・S'
排水処理により水域へ排出される量 = S'	排水処理がある場合: V・V'

排水処理がない場合: S・S'
 排水処理がある場合: V・V'
 を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または「

② 排水処理を行っている場合

排水処理による除去率	排水処理による分解率	水域への処理後の排出量	処理による分解量
% T	% U	kg/年 V	kg/年 W
		= S × (100 - T) ÷ 100	= S × U ÷ 100

②-1 排水処理により大気へ排出される場合

排水処理により大気へ排出される量	kg/年 X
= S × (T - U) ÷ 100	
→ AC'(β)	へ記入

②-2 排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理で発生する廃棄物の名称	Y中のBの廃棄物に含まれる量	Yの移動等の分類
Y	kg/年 Z	AA
	= S × (T - U) ÷ 100	
Y'	kg/年 Z'	AA'

Z・Z'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

大気への排出量の算出

大気・水域の排出の多い媒体
 AB 排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入

大気への潜在排出量	kg/年 AC ※
β →	kg/年 AC'

排水処理により大気へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)

※「大気への潜在排出量AC」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出

① : AC = O - S
 ②-1 : AC = O - V - W - X
 ②-2 : AC = O - V - W - Z

① 排水処理を行っていない場合

大気への排出量 = AC	排水処理がない場合: AC・AC'
排水処理により大気へ排出される量 = AC'	排水処理がある場合: AF・AF'

排水処理がない場合: AC・AC'
 排水処理がある場合: AF・AF'
 を「大気への排出」として集計

②-1 排水処理により水域へ排出される場合

排水処理により水域へ排出される量	kg/年 AH
= AC × (AD - AE) ÷ 100	
→ S'(α)	へ記入

②-2 排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理による除去率	排水処理による分解率	大気への処理後の排出量	処理による分解量
% AD	% AE	kg/年 AF	kg/年 AG
		= AC × (100 - AD) ÷ 100	= AC × AE ÷ 100

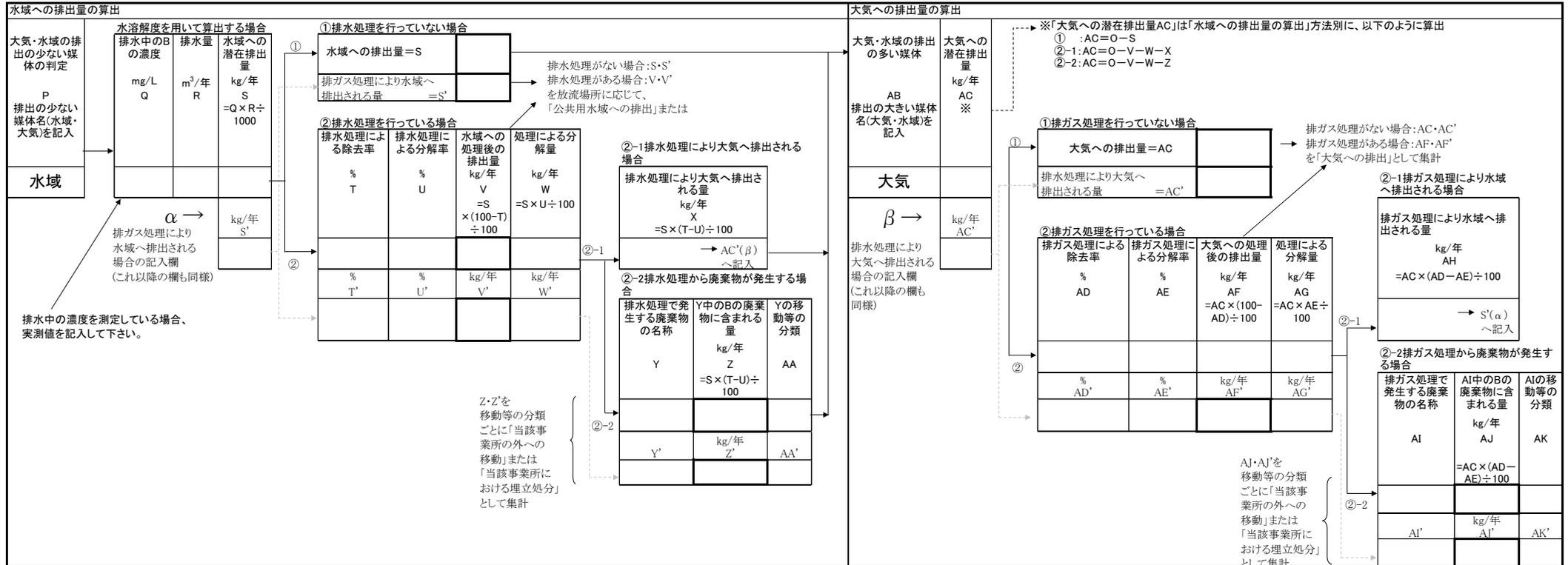
AI・AI'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

印刷工程(溶剤)作業シート

この作業シートは、印刷工程における印刷インキに含まれる揮発性の溶剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-6印刷工程(pⅢ-77)の算出事例を参考にしてください。

廃インキ中の対象物質の含有率がわからない場合は、
使用インキ中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中の含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Bの製造品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	II中のBの廃棄物に含まれる量	IIの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F = D × E ÷ 100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M = J × K ÷ 100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O = G - N
印刷							0							



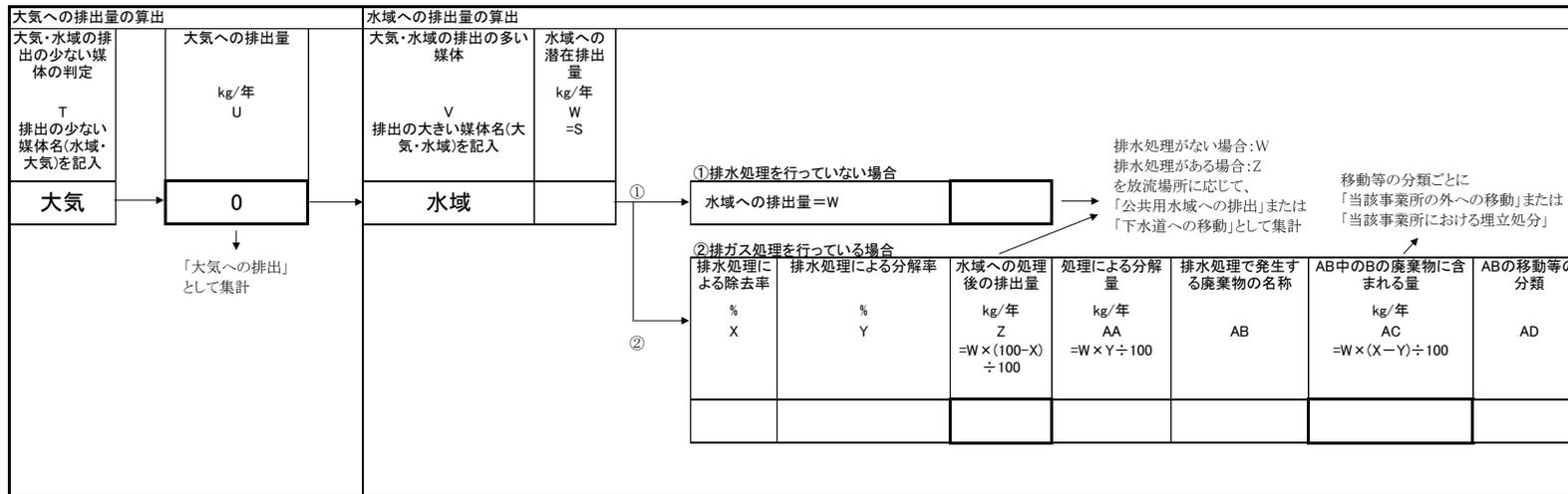
印刷工程(顔料)作業シート

この作業シートは、印刷工程における印刷インキに含まれる金属化合物等の顔料の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
 排出量等算出マニュアル Ⅲ部資料編 1-6印刷工程(pⅢ-77)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の含有率がわからない場合は、
 物質収支などの方法で算出してください。

廃印刷インキ中の対象物質の含有率がわからない場合は、
 使用印刷インキ中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称			対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるB(B')の年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製造品の名称 H	Hの製造量 kg/年 I	H中のBの含有率 % J	H中のBの製造品としての搬出量 kg/年 K =I×J÷100	Bの製造品としての搬出量の合計 kg/年 L (Kの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 M	Mの発生量 kg/年 N	M中のBの含有率 % O	Mの移動等の分類 P	M中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Q =N×O÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 R (Qの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 S =G-L-R
印刷																			
																			→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分として集計」

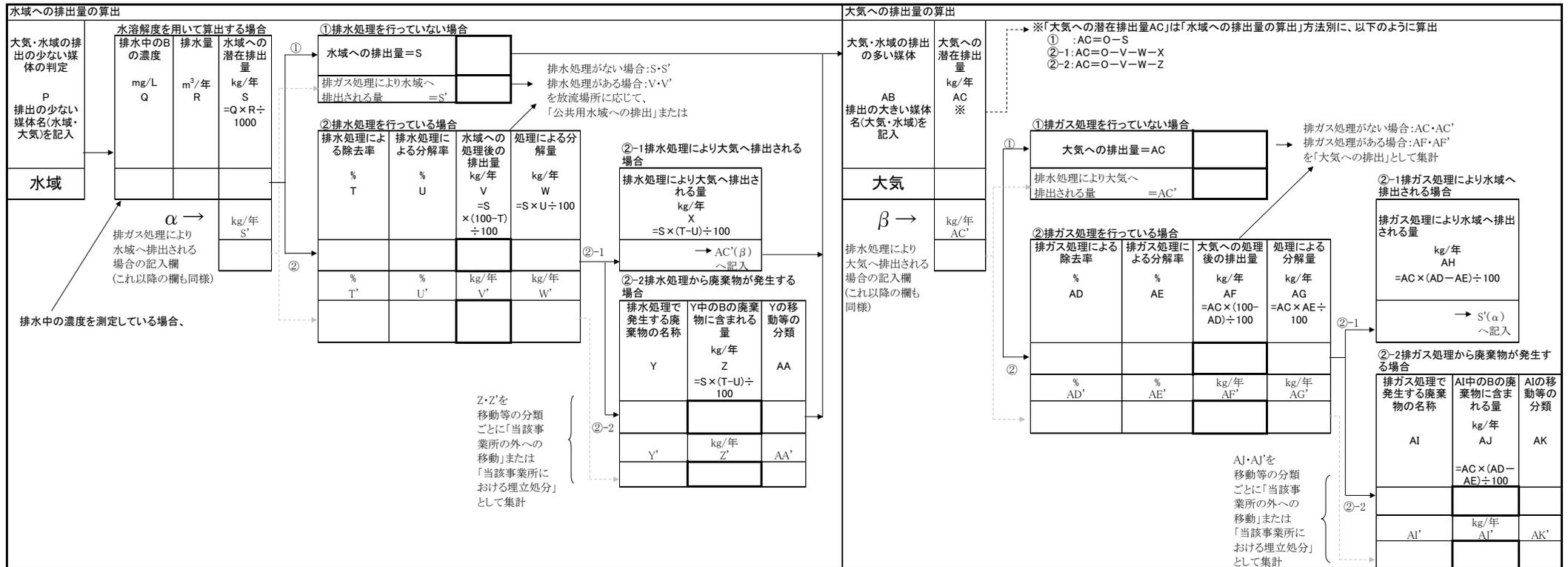


接着工程(溶剤)作業シート

この作業シートは、接着工程における接着剤に含まれる揮発性の溶剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアルⅢ部資料編 1-7接着工程(pⅢ-88)の算出事例を参考にしてください。

廃接着剤等中の対象物質の含有率がわからない場合は、
使用接着剤等中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出		対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Bの製造品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	I中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F = D × E ÷ 100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M = J × K ÷ 100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O = G - N
接着							0							



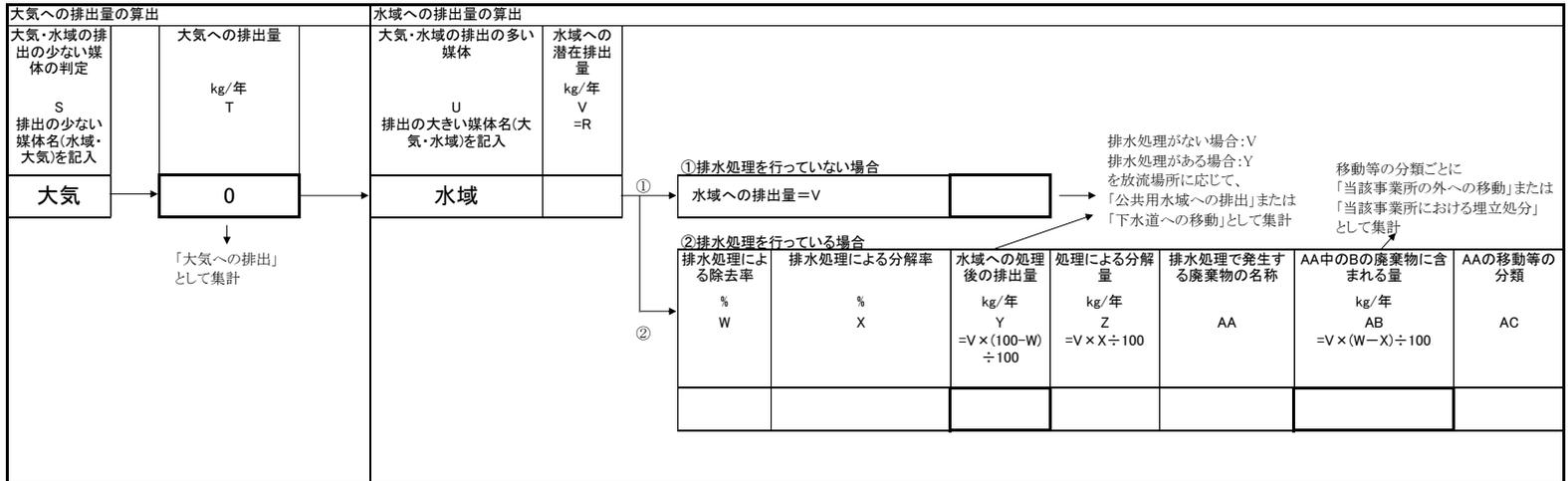
めっき工程作業シート

この作業シートは、めっき工程におけるめっき液に含まれる金属化合物等の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-8めっき工程(pⅢ-98)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の対象物質を①めっき厚さ×めっき面積×金属化合物の密度
 ②電流×めっき時間×電気化学当量×電流効率
 などの方法で算出してください。
 (電流効率は「排出量等算出マニュアル第Ⅲ部」4-3-7(pⅢ-534)参照)

廃めっき液中の対象物質の含有率がわからない場合は、
 使用めっき液中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称			対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出				対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製造品の名称 H	製造品としての搬出量の算出式 I	H中のBの製造品としての搬出量 kg/年 J	Bの製造品としての搬出量の合計 kg/年 K (Jの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 L	Lの発生量 kg/年 M	L中のBの含有率 % N	Lの移動等の分類 O	L中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 P =M×N÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 Q (Pの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 R =G-K-Q
めっき																		
																		→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

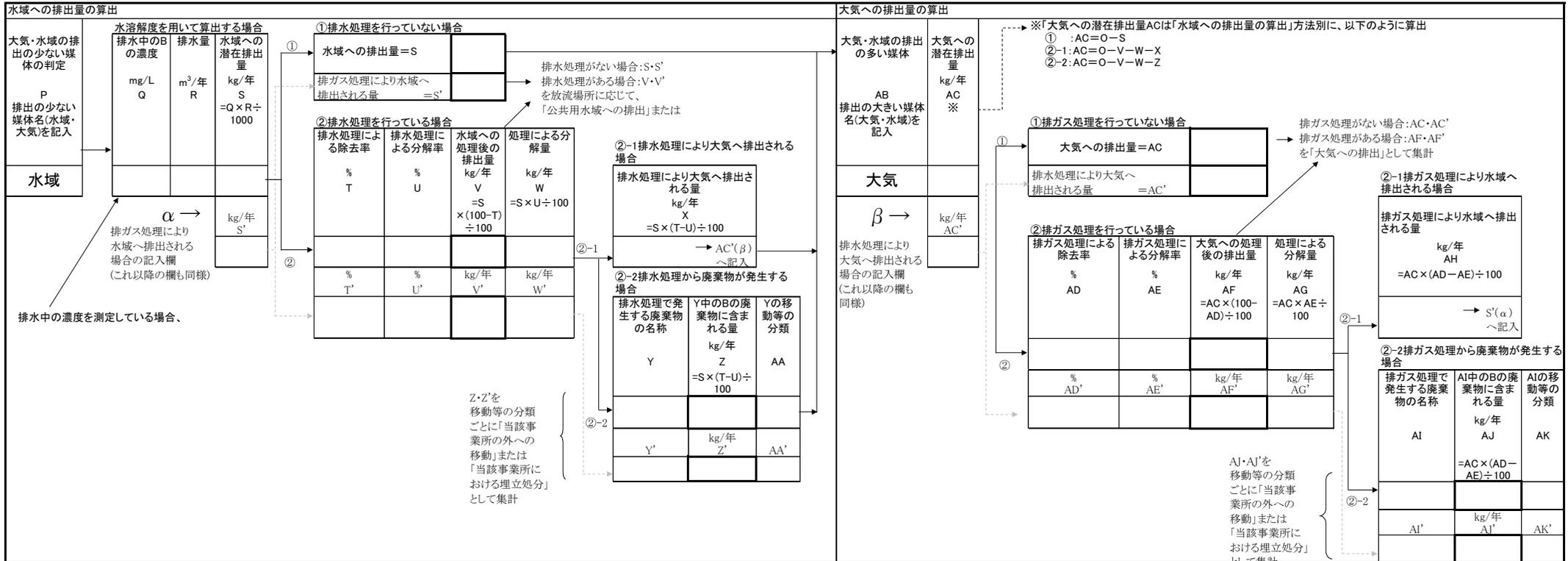


殺菌・消毒工程用作業シート

この作業シートは、殺菌・消毒工程における殺菌剤・消毒剤等に含まれる対象物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる発生量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-10殺菌・消毒工程(pⅢ-124)の算出事例を参考にしてください。

廃液等中の対象物質の含有率がわからない場合は、
 殺菌剤・消毒剤等中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出		対象物質の廃棄物に含まれる量の算出				対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Bの製造品としての搬出量 kg/年 H	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 I	Iの発生量 kg/年 J	I中のBの含有率 % K	Iの移動等の分類 L	I中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 M =J×K÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 N (Mの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 O =G-N
殺菌・消毒							0							



その他溶剤等使用工程作業シート

この作業シートは、その他溶剤等使用工程における溶剤等に含まれる対象物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
 排出量等算出マニュアル第III部資料編 1-11その他溶剤等使用工程(pIII-129)の算出事例を参考にしてください。

廃溶剤等中の対象物質の含有率がわからない場合は、
 使用溶剤等中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出				対象物質の製造品としての搬出量の算出			対象物質の廃棄物に含まれる量の算出			対象物質の環境への最大潜在排出量の算出		
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 D (kg/年)	C中のBの含有率 E (%)	Cに含まれるBの年間取扱量 F (kg/年) =D × E ÷ 100	Bの年間取扱量 G (kg/年) (Fの合計)	Bの製造品としての搬出量 H (kg/年)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 I	Iの発生量 J (kg/年)	I中のBの含有率 K (%)	Iの移動等の分類 L	I中のBの廃棄物に含まれる量 M (kg/年) =J × K ÷ 100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 N (kg/年) (Mの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 O (kg/年) =G-N
							0							

